

暮らしといのちまもる3つの安心を



白井市議会議員・言語聴覚士

とくもと みつ か
徳本 光香

日本共産党



ツイッター ホームページ 公式ライン

1 加齢性難聴者の 高い補聴器購入に補助を

私は、3月市議会に市民が出した「白井市に加齢性難聴者の補聴器購入への補助を求める請願」の紹介議員になりました。市が数万でも補助を出し、必要な人の早期装着を後押しすることが、会話や社会参加の維持、ひいては健康維持と医療費抑制にもつながると訴えました。

2/28教育福祉常任委員会の審議結果

〈賛成〉 小田川、徳本

〈反対〉 岡田、長谷川、古澤、和田

3/23の議会最終日

(議員全員)の採決

反対多数で不採択

「市でなく国に要望するべき」と請願に反対した議員がおり、小田川・影山・柴田市議から「国に補聴器への公的補助を求める」議員発議案も出されました。共産党市議団は当然大賛成でしたが、これも反対多数で不採択でした。反対した市議は、加齢性難聴の問題をどう考えているのでしょうか。

1600筆もの補聴器署名へのご協力に感謝します。今後も要望を続けます



言語聴覚士として

加齢性の難聴は、誰でもなる可能性があり、日本老年医学会の調査を元にするると、白井市の65才以上の58.1%が軽度以上の難聴と予測されます。

全ての音を大きくする集音機でなく、その人が聞こえづらい音域や音の歪みに合わせた補聴器等の対応をとることが大切です。

厚生労働省も、難聴が認知症の危険因子だと認めています。難聴の早期発見のため、市でも健康診断に聴力検査を追加するべきです。補聴器を早めにつけて慣れることは、会話や社会参加の機会を守り、認知症を予防する上でも大切です。

2 高い国保税 介護料金値下げ

国費の繰り入れは全国知事会も要望。せめて子どもへの課税はストップを！

3 公共交通を 便利に

- ◆ 安心して運転免許を返納できるようナッシー号は日・祝も運行を
- ◆ 京成電鉄に線路使用料を払わせ北総線の普通運賃さらなる値下げを